

- 東日本震災時には、自衛隊・救急隊の支援拠点として機能を発揮。これを受けて、岩手県広域防災拠点配置計画の広域防災拠点に位置づけられ、**ベースキャンプ、備蓄等の高度な防災機能を分担。**
- 復興に向け、**沿岸被災地の海産物の販売所を新設**、岩手県内「道の駅」の共通販売商品を開発。
- スタッフが常駐する観光案内所は、沿岸地域の**復興情報、観光情報に加え、ふるさと納税や移住促進にも活用。**

年間利用者：約100万人 販売額：約6億円 雇用：131名



道の駅「遠野風の丘」

岩手県遠野市

〔人口 約2万9千人〕
〔面積 約830km²〕

国道283号（一体型）



防災の拠点

東日本大震災では、復旧、救援に向かう自衛隊・消防隊やボランティアの方々の後方支援拠点として機能



震災時の中継拠点として活用

産業振興の拠点

沿岸被災地の海産物を販売する鮮魚店を開設し、被災地の復興を支援



大船渡市の水産加工業（鎌田水産）が出店

遠野風の丘が中心となり、岩手県内の「道の駅」共通の新品を開発。



岩手県内道の駅30駅が共同開発

観光や地方移住等 総合案内拠点

観光案内所では、沿岸地域の観光復興に向け情報を発信
ふるさと納税制度の紹介、納税者には、「道の駅」の特産品を提供



専任配置のインフォメーションコーナー



地元の野菜・土産を扱う物産ホール



被災地企業の販路拡大等支援



イベントによる地域交流



道の駅「遠野風の丘」



津波被害を後世に伝える震災伝承コーナー